



連合群馬
125,000!

5・6・7月は
組織拡大強化月間

1000万連合 ヘラストスパート!

2020年までに組合員1000万人をめざす、組織拡大の取り組みは、『1000万連合実現プラン』(2012年5月)以降、連合加盟各組織において活動が進められてきました。

2018年度の連合に登録されている組合員の人数は、696万578人となり、昨年度より10万1,920人増加しています。しかし、2020年10月を目標とした「1000万連合」は、現在のスピードでは到底到達することができません。残りわずかとなった今、「1000万連合」の実現に向けて取り組みを加速しなければなりません。

連合の「2018-2019年度運動方針」では、「1000万連合」に向けて次の内容を確認しています。

【組織拡大に向けた連合全体の戦略と体制の構築】

これまでの「1000万連合」の取り組みの総括を踏まえ、各組織が相互に目標を再確認するとともに、2020年の目標実現に向けた戦略と具体的な取り組みについて連合全体で共有し、取り組む。

また、働き方改革の推進には集团的労使関係の構築が不可欠であることを組織内外に伝える。特に構成組織は、加盟組合が企業内の未組織労働者とグループ内の未組織企業などを組織化するよう指導する。あわせて、雇用の流動化と断片化を労働者の危機と認識し、戦略的な組織拡大の取り組みと将来に向けた対応について検討する。

また、「1000万連合」の取り組みは、連合が進める「働くことを軸とする安心社会」の実現に向けて欠かすことはできません。このため、連合本部・構成組織・加盟組合・地方連合会は、次の3点を重点的な取り組みとし、さらなる組織拡大をはかります。

- I. 非正規労働者（パート・有期契約・再雇用など）の組織拡大
- II. 子会社・関連会社、取引先企業の組織化
- III. 未組織企業の組織化

連合群馬に加盟する組合員は2018年2月現在、97,839人。3年前と比較すると、3,767人の仲間が増えており、徐々に組織拡大が進められています。一方、目標は2020年までに125,000人であり、連合全体と同様、目標に到達するにはきわめて厳しい状況にあります。

これらをふまえて、連合では5月から7月までの3カ月間を「組織拡大強化月間」と位置付け、ラストスパートをかけるべく、組織拡大・組合づくりの必要性をPRし働く仲間の拡大に取り組めます！

引き続き、加盟組織のみなさまにおいても、社内での組合未加入者へのアプローチ、または友人・知人で労働組合の無い企業に勤め、働くことでの困りごとがないかなど、取り組みのご協力をお願いします！

連合群馬の取り組み

組織アドバイザー打ち合わせ のひとコマ

連合群馬の組織拡大の取り組みに係る会議は、産別・地協役員で構成する「組織拡大委員会」と、労働相談や組織拡大を中心に取り組んでいる組織アドバイザーと、組織拡大担当で構成する「組織アドバイザー打ち合わせ」があります。



組織アドバイザーと組織拡大担当者が月1回打ち合わせ

「組織アドバイザー打ち合わせ」は、労働組合を結成して間もなく、あるいは個人加盟によって産別加盟していない「連合群馬ユニオン」の団体交渉の取り組み状況



や近況報告、連合本部方針をもとに組織拡大の取り組み内容の検討、継続的に受けている労働相談の状況などを共有しています。打ち合わせは定期的に（月1回）開催し各項目の進捗を確認しています。

労働相談から組合を結成された方からは、「労働協約ができて会社と交渉しやすくなった」、「働き方を良くしていこう、という気持ちが高まった」などの声が寄せられています。このように労働組合があることの良さを伝え、街中でのPR（写真上）も含め、これからも働く仲間に寄り添った活動を進めていきます。

こんなことも…



労働相談ダイヤルの入ったスタッフジャンパーで街宣行動やイベント時に“歩く広告”としてPR!

労働相談から組合を結成された方からは、「労働協約ができて会社と交渉しやすくなった」、「働き方を良くしていこう、という気持ちが高まった」などの声が寄せられています。このように労働組合があることの良さを伝え、街中でのPR（写真上）も含め、これからも働く仲間に寄り添った活動を進めていきます。